

フェリチン		2132000			
		担当部署			
フェリチン		生化			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物			
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	他材料	10 青	分離剤	8	mL
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		男性： 13 ～ 277 ng/mL 女性： 5 ～ 152 ng/mL LZテスト 栄研 FER 添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	ng/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	13	277	5	152	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>鉄の貯蔵および血清鉄濃度の維持を行う蛋白で、鉄の貯蔵状態を反映し、各種血液疾患の病態把握に有用である。フェリチンの役割はてつを細胞内に貯蔵し、トランスフェリンとの間で鉄のやり取りを行って、血清鉄の値を適切に維持する事である。血中フェリチン濃度低下の原因で最も一般的なのは鉄欠乏である。正常成人の鉄貯蔵量はおよそ 1000mg であるが、貯蔵鉄の減少と共にフェリチンも減少する。逆に鉄過剰状態でフェリチンは増加し、フェリチン鉄が凝集して不溶性のヘモジデリンを形成する。フェリチンは慢性炎症性疾患などにみられる網内系への鉄貯留や、肝炎などの細胞破壊による血中への逸脱などにより上昇する。悪性腫瘍などでフェリチン産生亢進見られることがあるが、腫瘍マーカーとしての感度、特異度は低い。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第 4 版 444,2008</p>				